

開催日時	平成26年1月23日（木）午後7時30分～午後8時50分		
会場	白岩 中町公民館	出席者数	18人
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）			
<p>① 寒河江川の濁りへの対策、見直しについて</p> <p>→ 県に対策を要望しており、県、ダム、電力等で構成する連絡協議会を開きそれぞれが担当する分野で対策を講じていくこととなっている。川底の洗浄なども検討してもらっている。 今のところ落ち着いているが、春、夏に向け、今後も注視していきたい。</p> <p>② 平成26年度の市の重要事業についてお聞きしたい。</p> <p>→ 人口減を抑制するための定住施策（移住、子育て、少子化）が課題である。天童市に大型ショッピングセンターができるが、寒河江の特徴を出しながら対策を講じるなど、定住施策を進めて行くことが求められている。</p> <p>③ 保育料無料化の基準の年齢を小3から小4まで引き上げてもらえないか。</p> <p>→ 保育料の第3子無料化事業は今年から始まったばかりであり、もう少し様子を見させていただきたい。 年齢の引き上げはしていかなければならないと考えている。さらに進められるように、がんばっていきたい。</p> <p>④ 3.11のような大きな地震が来ると、寒河江ダムが決壊するという話があるが本当に危険性はあるのか。市としてどう考えているか。</p> <p>→ 寒河江ダムに問合せしたが、大震災と同じような規模の地震がきても決壊の危険性はほとんどないという回答であった。しかし決壊した場合の被害予測については回答が出ていない。今後もいろんな機会を通じて情報を収集していきたい。</p> <p>⑤ 60周年記念事業としては何を考えているのか。</p> <p>→ 50周年の時の「市民歌」のような後世に残るような、市の新たな宝になるようなものをきちんと位置付けていきたい。今年、安東市との姉妹都市締結40周年に当たるということもある。いろいろと考えているが、2月ころには内容をお示しできると思う。</p>			

⑥ 今年はDCキャンペーンが開催される。寒河江には慈恩寺があるが以前あった慈恩寺会館のような売店もないがどう考えているのか。

→ 国に史跡指定の申請を文化庁に3月頃まで提出する予定。6～7月頃には指定なる見込み。慈恩寺の文化的価値を皆が再認識するきっかけになるという意義がある。6月1日から7月まで秘仏公開を予定している。PRや受け入れ態勢の整備が必要であると考えている。キャンペーンの年ばかりでなく、大掛かりに長期的な計画で観光も含めた市の名所として整備していきたいと考えている。慈恩寺は寒河江市の切り札と考えている。

⑦ 慈恩寺歴史資料館構想があったが、資料館、博物館、美術館的、宝物殿的な整備計画はどうなっているのか。

→ 史跡指定のエリア内には宝物殿、歴史資料館や博物館は難しいが、エリア外であれば、ガイドンス施設としてであれば補助金で可。今後保存管理計画を立てて、整備計画を作ることになり、その中でいろんな方法を模索していきたいと考えている。宝物殿的なもの、そういう施設は慈恩寺にも必要だと思う。

⑧ 市長と教育委員会との意思疎通を図るための取組について

→ 毎週月曜日の朝マンデーミーティングを行い、当面の課題等について、情報の共有を図っている。天童市の中学校のいじめ、生徒自殺問題などについても話題になった。国の教育改革等の動向も注視していく必要がある。